

9月3日(日)午前8時開始

各自主防災会場

消火栓・消火器の取り扱い訓練、可搬ポンプ訓練、応急手当訓練など、各地区の状況に合わせた訓練

町役場 (災害対策本部)

消防団への指示訓練や公共施設の被害状況調査など



9月3日(日)午前8時から、町内各所で防災訓練を実施します。災害時にとるべき行動を身に付けるため、各自主防災会(自治会単位)で実施される防災訓練に積極的にご参加ください。

総合防災訓練に参加しましょう

町民一人一人が防災知識を身に付け、地域の防災力を高めるために

当日の流れ

当日は、マグニチュード7、震度6強の神奈川県西部地震が発生したという想定で、訓練を開始します。午前8時にサイレンの吹鳴と訓練実施の放送を行います。サイレンが鳴ったら、まず身の安全を確保するためにかながわシェイクアウト(下図を参照)を実施してください。

各自主防災会では、地区の状況に合わせた訓練を行います。豪雨などで防災訓練を中止する場合は午前7時に同報無線でお知らせします。

大切な「自助」「共助」の力

災害時には、役場などによる公助だけでは限界があります。自身自身の努力で自分や家族を守る自助や、自治会(自主防災会)などで周りの人たちと助け合って地域を守る共助が必要になります。シェイクアウトは自助を身に付ける訓練であり、防災訓練は共助を身に付ける訓練です。日頃の訓練が災害時の行動を助けますので、積極的に訓練に参加しましょう。

【問い合わせ】 安全防災担当室
防災防犯係 ☎(84)5540

地震が発生したら かながわシェイクアウトで身を守ろう!

地震発生! (かながわシェイクアウト)

- 1 まず体勢を低く!
- 2 頭を守って!
- 3 そのままじっと動かない!



- ①ドロップ: まず低く!
- ②カバー: 頭を守り!
- ③ホールド・オン: 動かない!

※左の図は参考例です (提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)

1~2分 揺れがおさまった!

【土砂災害などの二次災害に備え、危険があればすぐに避難】

- 1 部屋に用意された靴を履く
- 2 火元を確認
- 3 家族は無事か
- 4 非常持出品



- ①ガラスの破片や転倒家具から身を守るため、靴を履きます。
- ②台所のガス台やストーブなど火の始末をします。
- ③ガスの元栓を閉めます。
- ④電気のブレーカーを落とします。
- ⑤家族の身の安全を確認し、災害情報、避難情報を入手します。
- ⑥戸を開けて避難するための出口を確保します。
- ⑦非常持出品が入ったリュックサックを身に付けます。
- ⑧二次災害の恐れがある場合は速やかに避難します。
- ⑨家族に救出・救護の必要がない場合は、玄関などのわかりやすいところに黄色いタオルを掲示します。
- ⑩消火器を玄関前に置く。(自宅に火の気がなく、近所で火災が発生している場合に使用)

※避難時はヘルメットなどで頭部を保護し、長袖、長ズボン、軍手などを着用しましょう。

3分 余震に注意!

【隣近所、地域の状況は大丈夫か?】

- 1 大声で知らせる
- 2 消火器を使う
- 3 近くの人と協力
- 4 バケツリレー



- ①大声で無事を知らせ、近所の人同士で協力します。
- ②隣近所の安否確認 ※救出・救護の必要性について確認
- ③出火防止の声かけを行います。
- ④火災が発生していたら、安全を確保できる範囲で、消火活動を行います。
- ⑤要救助者の救出・救護活動を、安全を確保できる範囲で行います。
- ⑥消火・救出活動などが無い場合は一時避難場所に集合しましょう。

平成29年度 就業構造基本調査 へのご協力をお願いします



町では、10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。この調査は、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的として、統計法に基づき実施する国の重要な統計調査です。皆様により便利にご回答いただくため、パソコンやスマートフォンを使って、簡単に回答することが可能となっています。

9月下旬から、調査員が調査をお願いする世帯に伺いますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いいたします。詳しくは総務省統計局のホームページをご覧ください。

<http://www.stat.go.jp/index.htm>

【問い合わせ】 政策推進課 経営戦略係
☎(83)1222
県統計センター 人口・労働統計課
☎045(312)1121